



「スノーボール」  
切花として人気があり、色合いや姿は  
ウェディングにピッタリ。  
西村山地域が日本一の産地です!!

人と人との力 地域之力 東北の未来に

# 村山総合支庁ニュース

第172号 平成28年4月号

山形県村山総合支庁

平成28年度当初にあたって

村山総合支庁長 加藤 祐悦



それぞれの地域振興局に石碑看板（吉村知事揮毫）  
が設置されました。

平成28年度の始まりにあたり、一言御挨拶申し上げます。

さて、この度本県では総合支庁の見直しが行われました。見直しの主な内容は、①地域の実情に応じて、市町村間連携の調整や市町村との連携・協働を推進するための中心的な役割を担う「連携支援室」の設置、②商工分野において、本庁と総合支庁との役割分担を明確にし、県の組織全体で施策展開を図る「産業振興機能の見直し」などです。

これに加え、村山地域では、東南・西・北村山の地域特性を踏まえ、3地域それぞれに市町村支援機能を配置されました。このことにより、西・北分庁舎は、機能の強化が図られ、「地域振興局」に移行いたしました。今年度は、村山総合支庁の役割や機能、体制が大きく見直された『新たな出発の年』であります。

また、昨年度は、「地方創生は日本の創生」との思いを全国で共有した「地方創生元年」でありましたが、今年度は、より実効性のある取組みを本格的に実行していく『地方創生前進の年』でもあります。

村山総合支庁としては、このような節目の年にあたり、これまで以上に、現場主義を徹底し、市町や地域の皆さまとの対話を行いながら、本庁各部との事業調整や市町村間連携に向けたコーディネートを行うなど、地域課題の解決に向けた現場機能の拠点としての役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えておりますので、皆さまの御協力をお願いいたします。

## 平成28年度村山総合支庁予算の概要

### I 村山地域の発展方向

都市と農村が共鳴し合い、様々な県民運動が展開される田園都市圏『村山』の創造

#### 〈取組の基本方策〉

1. 地域資源を活かし新しい価値を生み出す「村山」の産業群の育成
2. 交流と連携で活性化の中核都市圏「村山」の形成
3. 安心して暮らせる新たな田園都市圏「村山」の創成

### II 当初予算の概要

予算規模 5億6,297万円

#### ●地域企画調整推進費

- ・村山地域広域連携推進事業
- ・6次産業化推進事業

- ・むらやま子育てサポートふれあい体験事業
- ・YAMAGATAワイナリーツーリズム事業 など

#### ●産業廃棄物税・やまがた緑環境税活用予算

- ・木質バイオマス燃料利用促進事業 など

#### ●総合支庁運営・広聴広報事業など

## 東日本大震災追悼・復興祈念事業開催

東日本大震災から5年が経過した3月11日、山形市の文翔館において大震災追悼・復興を祈念する「キャンドルナイト」が行われました。

議場ホールで行われたオープンセレモニーでは、避難者家族と県看護協会会長から復興メッセージがあり、山形交響楽団が追悼・復興への祈りを込めた演奏を披露しました。

文翔館前広場では、知事、山形市長、避難している子ども達がろうそくに点灯し、「3.11」の数字とハートの形が浮かび上がりました。また、ろうそくを入れた瓶には多くの人から追悼と復興への願いを込めたメッセージを書き入れていました。  
(総務課防災安全室 023-621-8115)



## 第2回山形県知恵袋委員会開催（東南村山地域、西村山・北村山地域）



西村山・北村山地域知恵袋委員会（3月11日 北庁舎）



東南村山地域知恵袋委員会（3月15日 本庁舎）

3月11日に村山総合支庁北庁舎にて西村山・北村山地域の知恵袋委員会を、15日に本庁舎にて東南村山地域の知恵袋委員会を行いました。このたびの委員会では、7月の第1回知恵袋委員会いただいた県政に対する意見について、委員の意見が来年度の施策にどのように反映されたか、また、県はどのような事業でどういう支援をしていくかなどを報告した後、意見交換を行いました。委員一人ひとりから、県の対応に対する質問や、委員自身の地域でのこれからの活動への意気込みなどの発言があり、支庁長をはじめ、各部長や地域振興監、教育事務所長と活発な意見交換が行われました。1年間という短い間でしたが、貴重なご提言をいただき、どうもありがとうございました。委員の皆様からいただいたご意見を生かして、各種事業に取り組みまいります。

(総務課 023-621-8107)

## 地域サポート団体（マイロードサポート団体・河川愛護団体）交流会

県マイロードサポート事業のサポーターによる意見交換会を3月9日村山総合支庁本庁舎講堂で開催しました。

この事業は、地域の皆さんと県・市町が協力し、『私たちの道は、私たちの力できれいにする』取り組みです。事業に登録している村山地域14市町の30団体の代表者らを中心に約70名が出席。『高齢化社会における担い手育成』をテーマに意見が交わされ、『高校生が活動に加わるようになった』、『子どもたちと一緒に活動し、交流するのが楽しい』などと、担い手育成の事例や手掛かり等が話し合われました。



マイロードサポーター意見交換会



河川愛護活動団体相互交流会

河川愛護活動団体、支援企業のほか河川のボランティアに興味のある方を対象とした「ふるさとの川愛護活動支援事業 相互交流会」を2月25日に村山総合支庁西庁舎講堂にて開催しました。

今回は「河川愛護活動団体と支援企業との連携」をテーマに、事務局から支援制度の仕組みや活動状況などを説明した後、7つの連携事例を各団体と支援企業から紹介していただき、パネルディスカッション方式にて意見交換を行いました。

村山総合支庁では、これからも、ふるさとの環境を守り、次の世代に引き継いでいく取り組みを、地域の皆様と協力しながら続けてまいります。

河川愛護活動、マイロードサポート活動のお問い合わせは、お近くの市町・総合支庁へお願いいたします。

(河川砂防課 023-621-8233・道路課 023-621-8193)



笑顔が素敵な登坂尚高さん



昨年の寺フェスの様子

今年の寺フェスは9月上旬開催で準備中！  
問合せ先：090-1933-6738（登坂さん）

春まだ浅い朝日町にある若宮寺を訪ねた。訪ねた先は、若宮寺副住職で「寺フェスin朝日町」実行委員長の登坂尚高さん。

大学卒業と同時に音楽活動を始めた登坂さんだが、音楽を気軽に楽しみワクワクするイベントが山形には少ないと、3年前に企画したのが実家の本堂での『寺フェス』の始まりだった。

昨年8月の寺フェスの日、朝早くから同級生をはじめとする大勢のボランティアスタッフが集まり賑わった。中学・高校からの友人もいれば、その友達で彼を知りサポートしたいという若者もいる。彼の友達の繋がりが人と人との輪を広げていた。驚いたことに若者達だけでなく、地区の年輩の方、前回の話を聞いて関東方面から来たという老夫婦など実に幅広い層の人々が、朝日町ハツ沼地区に集っていた。この若者のパワーを地区の活性化につなげたいと地区全体が応援していると地区長さんも期待を寄せていた。

今は、東京と山形で僧侶としての仕事をしながら音楽活動を続けている登坂さん。「もともと寺というところは公共の場で、葬式をし、法事をするだけではなく、地区や皆の集える場でなければならない。何時死ぬかわからない私たちが、今、やらなければならない事とは、見えない糸でみんなが集まり一緒に一時を楽しむこと。これこそが、今、生きているということ。寺フェスを通して何かを学び地域へ返せたら良いと思う。」と話してくれた言葉が印象的だった。（子ども家庭支援課 023-627-1153）

## 森づくり掲示板

### 県民の森イベント情報

県民の健康の増進と自然を愛する心を育むため、昭和56年に設置された県民の森は県民の皆様から愛されています。冬の間、休園していた県民の森が、4月29日（金・祝日）からオープンしますので、お知らせします。

#### ◆ 県民の森 4月、5月のイベント

開催日	イベント	内容・備考
4/29（祝）	オープニングイベント	各種体験会・緑のプレゼント
5/21（土）	大人の遠足「白鷹山登山」	定員20人・参加料必要
5/29（日）	新緑まつり	新緑を楽しむ・山菜特産品販売

「県民の森」では、どなたにも気軽に森林散策を楽しんでいただけるよう、“森の案内人”がお待ちしています。

#### ● お問合せ先

村山総合支庁森林整備課 023-621-8156  
山形県みどり推進機構 023-688-6633

### 天童市の3つの木造公共施設がオープンします！

天童市では、東日本大震災の発生を受け、市有施設の耐震化を積極的に進めており、平成27年度に市立成生公民館、市立蔵増公民館、市立高揃公民館の新築工事を実施しました。

3館ともに木造とし、山形県産の杉材を大断面の集成材も含めて多く使用しているほか、天童産の杉材でつくった家具を、誰もが自由に利用できる図書・談話室に設置するなど、木の温もりがあふれる施設になっています。また、太陽光発電・蓄電設備を導入し、ペレットストーブも設置するなど、環境への配慮、災害時の避難所として設備の充実も図られています。

#### ● お問合せ先

天童市農林課まで

3月27日に落成式を行った天童市立成生公民館



### 大江町山里交流館「やまさあーべ」のイベント

大江町山里交流館では大人から子供まで楽しめるイベントを開催しています。2月11日に「巣箱とバードケーキ作り」を行い、地元の西山杉を材料にした巣箱と野鳥の餌づくりのイベントに沢山の親子が参加しました。また、2月13日には、昨年12月に導入された薪ストーブを使った料理教室も開催されました。薪ストーブでピザを焼いて食べたところ、本格的なオープンで焼いたように香ばしくて、とってもおいしいと評判でした。

これからも「やまさあーべ」では沢山の体験プログラムを開催する予定です。



薪ストーブでピザ焼き



巣箱づくり (2/11)

【当該事業は、山形県女性・若者ビジネス応援事業を活用して、体験交流ビジネスのモデルとして実施しています】

● お問合せ先：大江町山里交流館 0237-64-2507

### 公園の遊具が新しくなりました！！

山形市青柳にある「健康の森公園」にて、昨年11月に遊具を更新しました。工事で張替えた芝生の養生のため、立入りをご遠慮いただいていたが、このたび養生期間を終えて開放します。今回、古くなったローラー滑り台や、クライミング遊具などを更新し、より楽しめる施設となりました。桜の季節も迎え、公園内も華やかになりますので、是非遊びに来てください。



新しくなった滑り台とクライミング遊具です！

(都市計画課 023-621-8195)



### 「出羽名刹三寺まいり」

オリジナル御朱印帳を手に、悪縁切りの「立石寺（山寺）」、若返りの「慈恩寺」、縁結びの「若松寺」を巡る「出羽名刹三寺まいり」。3年目を迎える今年は好評につき4月1日からのスタートとなります。また、三寺で御朱印をもらった後に参加できる“スマホdeおみくじ”も引き続き実施します。吉や大吉を引くと県産品が当たりますので運だめしに挑戦してみたいかたがでしょうか？

オリジナル御朱印帳と拝観料などを含む御朱印帳パッケージは各寺で3,330円で発売中です。



立石寺 (山寺)



慈恩寺



若松寺



オリジナル御朱印帳

(地域産業経済課観光振興室 023-621-8444)

### 自動車の納期内納税について

今年度（平成28年度）の、自動車税の納期限は**5月31日（火）**です。忘れずに、期限までに納めましょう。

お手元に納税通知書が届いたら（5月上旬）お近くの金融機関、郵便局、各総合支庁税務担当課、コンビニエンスストアのほか、インターネットを使ってクレジットカードでも納めることができます。

また、口座振替は納期限の日に預金口座から振替納税され、手間がかからず便利です。金融機関で、平成29年2月までに申し込みいただくと、来年度（平成29年度）から口座振替になります。

●お問合せ先

村山総合支庁課税課 TEL023-621-8256



### 県道下原山形停車場線「飯塚橋」 (山形市飯塚町)が開通しました

一級河川須川の河川改修に伴い平成23年度に事業着手し、平成24年度から県と国土交通省が一体となって整備を進めてきました「飯塚橋」（橋長211.5m）が3月24日（木）に開通しました。

旧橋は、昭和41年架設後50年が経過しており、老朽化が進んでいるとともに歩道がなく幅員が6mと狭いため、車両通行時に歩行者が危険な状況となっており、架替え工事が急がれていました。

当日は、関係者約60名が参加して（飯塚町、村木沢、大曾根）三地区連合会主催による安全祈願祭及び開通式が行われ、盛大に開通を祝いました。

(道路課 023-621-8217)



テープカット・くす玉開披



通り初め

### 飼い犬に狂犬病予防注射を受けさせましょう!!

毎年、4月から6月は狂犬病予防注射の実施時期です。各市町村では会場と日時を定めて集合注射を行います。犬を飼っている方は、お住まいの市町の広報誌やホームページなどで、お近くの集合注射会場と日時を確認し、忘れずに飼い犬に予防注射を受けさせてください。なお、予防注射は動物病院でも受けることができます。

予防注射をすると「注射済票」が交付されます。

犬の所有者には狂犬病予防法という法律で、

- ①飼い犬を登録すること
  - ②年に1回狂犬病予防注射を受けさせること
  - ③犬に鑑札と注射済票を着けておくことが、義務付けられています。
- これは、室内犬を含む全ての飼い犬が対象となります。

●お問合せ先

村山保健所生活衛生課  
乳肉衛生管理担当  
TEL023-627-1187



### あとかき

花だよりがあらこちらから届く季節になりました。

新年度、新しい環境で、たしかな一歩を踏みだしていきましょう！

■発行元■

村山総合支庁総務企画部  
総務課総合案内窓口  
Tel. 023-621-8106

村山総合支庁ニュースは、山形県のホームページからもご覧いただけます。

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/murayama/301001/murayamanews.html>

